



元人権教育推進員の伊田哲朗さん(下石見)に、自身の思う人権課題について伺いました。

少子化問題が叫ばれて久しくなりますが、一向に解決する方法も見つからないままです。子どもたちが少なくなつたのなら、これまで以上に大事にされ居心地の良い社会になつていくかといえ、そうではありません。

「いじめ」も「不登校」も相変わらず多く、色々な背景もあるにしても、保護者の「育児放棄」とみられる現象もニュースで触れる機会が増えたように思います。

私の世代は戦後のベビーブームの中で生まれ、貧しかったけれど今の子どもたちより幸せな学校生活を送ることができていたと感じています。そう思うのは、現在よりゆつたりと時間が流れていたと思えるからです。

作家の水上勉さんは代用教員時代を振り返って、授業を聞かずに一日中窓の外を眺めていた生徒のことを「困った生徒」と考えずに、「心田を耕していた」と言いました。心の田んぼを耕していたと。ある方が、

「困っている子どもはいるが、困った子どもはいない」と言われました。そういう視点で子どもたちを見ていきたいと思えます。

今の社会は、弱みを見せたり泣き言を言ったりすることに不寛容な気がします。心に余裕がないためか、不寛容さは外国人にも向けられ、障がい者など社会的少数者にも向けられています。差別を許さないということは、「違い」や「差」をなくすることではなく、表面的に平等や公平を繕う事でもありません。違いがあるということは、世の中を豊かにすることなのです。

【お知らせ】

○4月の人権・行政相談所

■日時 4月10日(金)

午前9時～正午

■会場 子育て支援センター

(道の駅にちなみ日野川の郷向かい)

同日、弁護士による相談所が、午後2時から5時まで開催されます。弁護士相談をご希望の際は、前日までに予約が必要です。前日までに人権センターへお問い合わせください。

○第1回ふれあい人権講座

■日時 4月21日(火)

午後6時～7時30分

■会場 人権センター

■内容 同和問題(部落差別)について

○100円モーニング

■日時 4月27日(月)

午前9時30分～11時30分

■会場 人権センター

■申込 4月21日(火)まで

日南町総合文化センター開館30周年

この場所で集い、出会い、感じた30年分のありがとう。

これからもともに紡ぐ物語

日南町総合文化センターは、今年6月で開館30周年を迎えます。30周年を記念したイベントや企画を予定しています。最新情報は随時、広報にちなん、文化センターのホームページなどで発信していきますので、どうぞお見逃しなく。

宮竹眞澄 心のふる里人形展 —団塊の世代が紡ぐ人形とエッセイの世界—

- 開催期間 4月17日(金)から6月7日(日)まで
- 入館料 一般1000円、高校生500円

昭和から現代にいたる人々の暮らしの情景を再現した、宮竹眞澄氏の創作人形展を開催します。団塊の世代を歩んできた宮竹氏によるエッセイパネルも併せて展示し、読んでも楽しめる展覧会となっています。

日南町美術館

たったもカード

のご利用で

特別割引あり(ご本人様限り)

